

自分たちの地域を自分たちで創ろう！

第3回

西校区まちづくり協議会 市民体験型研修 ニュース

第3回 **見直す** - 問題を集約し地域の課題をまとめよう



取りまとめた意見を発表するみなさん

2月13日、池田町公民館で「西校区まちづくり協議会」第3回市民体験型研修が開催されました。

毎回、グループ編成には工夫を凝らしています。今回は37人の参加者で6班に分かれましたが、なんと「パッと思いつく鍋料理・好きな鍋料理」がテーマ。自己紹介しつつ、鍋談義でなごみます。

この市民体験型研修も折返しを迎え、佳境に入ります。まずは各自治会で行っている行事を思い思いに書き出してみました。「うちの自治会はまだこれからだね」、「この取り組みは共通してるよ」と、早速の「（ツイッターのような）つぶやきタイム」が始まります。これが普通の会議だと「発言する人、しない人」に偏りがちですが、みんなが発言できるワークショップのいいところ！

そして、いよいよ地域コミュニティの抱える問題や課題の洗い出しと目標（スローガン）を考えます。

参加者のみなさんの苦心の成果を各班のリーダーから発表していただきましたが、共通の目標が少しずつ見えてきたのではないのでしょうか？

市民体験型研修会 全体スケジュール

- 第1回 平成24年12月10日・19:00～
知る - 校区まちづくり協議会の概要講座
- 第2回 1月19日（土）・9:00～
見る - まち歩きで魅力や問題点を見つけよう
- 第3回 2月13日（水）・19:00～
見直す - 問題を集約し地域の課題をまとめよう
- 第4回 3月13日（水）・19:00～
描く -
まちのあるべき姿をまとめよう

今回までの全4回研修で一区切りとなります。

新年度の5月に、自治会等の新役員ちゅうかんの皆様にもご参加いただいて、「中間報告会」を開催する予定です。

日程が決まり次第、ご案内しますので、ぜひご参加ください。

■各自治会で行っている行事（事業）を書き出してみよう！



所属自治会に関係なくグループを組んだみなさん。地元でやっている行事を各々が付せん紙に書きこんだ後、模造紙に張り付けながら発表し、語り合います。関連のある行事は並べ替え、マーカーで囲んでみました。

※各班で意見が出た行事を別表に集約しています。

実施行事(事業)	自治会				
	大辻町	深坂	池田町	弥生町	七重
消防団	文化祭	文化祭	文化祭		
ふたご見廻隊	盆踊り	盆踊り	盆踊り		
西小まつり	草取り	草取り		町内草取り	
	ゴミ回収	ゴミ回収			
	防災講座			ふたご見廻隊	
				老人部結成	
				バスハイフ	

1 班

実施行事(事業)	自治会				
	大辻町	深坂	池田町	弥生町	七重
WAP会議	防災訓練	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収
ふたご見廻隊	見廻り隊	みまわり隊	みまわり	みまわり隊	
西小まつり	道路清掃	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全
西小草取り	いさよごころ	いさよごころ	いさよごころ	いさよごころ	
				草取り	
				ラジオ体操	
				盆踊り	盆踊り

2 班

自治会						
大辻町	深坂	池田町	弥生町	七重	小田ヶ浦	
防災パトロール	見廻り隊	防災パトロール	みまわり隊	みまわり隊	みまわり隊	
道路清掃	草取り清掃	公園時清掃	公園時清掃	公園時清掃	公園時清掃	
ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	
盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	
敬老会	敬老会	敬老会	敬老会	敬老会	敬老会	
子供会	子供会	子供会	子供会	子供会	子供会	
文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	

3 班

自治会						
大辻町	深坂	池田町	弥生町	七重	小田ヶ浦	
ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	
身作り	見守り	見守り	見守り	見守り	見守り	
交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	
清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	
盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	

4 班

自治会					
大辻町	深坂	池田町	弥生町	七重	小田ヶ浦
ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収	ゴミ回収
盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り
文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭
交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全
ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
敬老会	敬老会	敬老会	敬老会	敬老会	敬老会

5 班

自治会					
大辻町	深坂	池田町	弥生町	七重	小田ヶ浦
盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り
盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り	盆踊り
文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭	文化祭
花見	花見	花見	花見	花見	花見
夜回り	夜回り	夜回り	夜回り	夜回り	夜回り
毎月まつり	毎月まつり	毎月まつり	毎月まつり	毎月まつり	毎月まつり

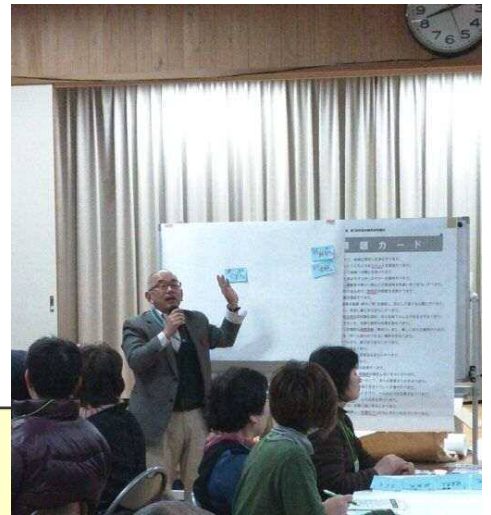
6 班

■ 地域の問題点や課題を集約し、地域コミュニティの目標（スローガン）をつくろう！

これまでの市民体験型研修では、地域の抱えるさまざまな問題点や課題をみなさんから出していただきました。これらを集約・整理して、25項目の課題カードとしてまとめてみました。

今回は、この25項目からグループメンバーそれぞれが関心の高い3項目を選び（ブルーの付せん紙）、キーワード（ピンクの付せん紙）で括っていただきました。

そして、最も関心の高い課題に花マルを付け、対応策（イエローの付せん紙）を検討。最後に力強い地域目標が提案されました。



課題カード

- ① 不審者が多いので、地域の見回りを強化すべきだ。
- ② みんなが参加したくなるようなイベントを実施すべきだ。
- ③ 自治会へ加入して地域への関心を持つべきだ
- ④ ゴミのポイ捨て禁止やゴミ出しのマナーを徹底すべきだ。
- ⑤ 災害発生時に、高齢者や障がい者など災害弱者を気遣い合うまちにすべきだ。
- ⑥ 夜道が暗い場所があるので、防犯灯の設置を充実すべきだ。
- ⑦ 独居老人の把握を徹底すべきだ。
- ⑧ 公園の管理（遊具の整備・草刈り等）を徹底し、安心して遊べる公園にすべきだ。
- ⑨ 路上駐車のない、安全に暮らせるまちにすべきだ。
- ⑩ 地域の全員が自主防災の知識を深め、まち全体でみんなの安全を守るべきだ。
- ⑪ 道路（歩道）をはじめ、危険な箇所は改善を図るべきだ。
- ⑫ 地域のみんなで定期的な清掃活動（草刈り）をし、美しいまちを維持すべきだ。
- ⑬ 子どもが遊べる（ボール遊びのできる）場所を作るべきだ。
- ⑭ 高齢者同士がつながり、助け合うまちにすべきだ。
- ⑮ 交通手段の充実を図るべきだ。
- ⑯ ご近所同士の交流を深め活気あるまちにすべきだ。
- ⑰ 買い物の不便をなくすべきだ。
- ⑱ 分かりにくい信号や標識は改善すべきだ。
- ⑲ 隣近所が声を掛け合い、孤独死が発生しないまちにすべきだ。
- ⑳ 地域の魅力（名所）をアピールして、まちの愛着をたかめるべきだ。
- ㉑ 子ども（小・中学生）が参加できるイベントを増やすべきだ。
- ㉒ 家の庭木が歩道にはみ出ないように、一人ひとりが注意を払うべきだ。
- ㉓ 地域の施設（福祉施設など）との交流を持つべきだ。
- ㉔ 風水害や地震などの、災害に強いまちとすべきだ。
- ㉕ 飼い主のマナーを徹底し、犬猫のフンのないきれいなまちにすべきだ。

※課題カードの中からキーワード（赤文字）を抽出してブルーの付せん紙に記入していただきました。

各班まとめは
次ページから

1 班

高齢者が安心して暮らせ 人と人とのつながりのある清潔な町

人とのつながりづくり

高齢者見守り

防災体制づくり

整備

マナー

3 00 自治会へ加入

2 00 イベント

3 00 自治会

2 イベント

2 イベント

19 孤独死

7 0 独居老人

14 0 高齢者同士

14 0 高齢者同士

5 00 災害時

6 00 防犯灯

10 0 自主防災

11 0 道路

11 道路

25 犬猫のフン

25 犬猫のフン

25 0 犬猫のフン

22 00 家の庭木

2 班

マナーの徹底

高齢者支援 個人情報の提示・みまもり

22 0 家の庭木

25 犬猫のフン

4 ゴミ

25 犬猫のフン

4 ゴミ

25 犬猫のフン

4 ゴミ

14 0 高齢者

14 0 高齢者同士

19 孤独死

19 孤独死

7 0 独居老人

7 独居老人

6 0 防犯灯

9 路上駐車

安全に暮らせるまち

交通の充実

13 00 子供

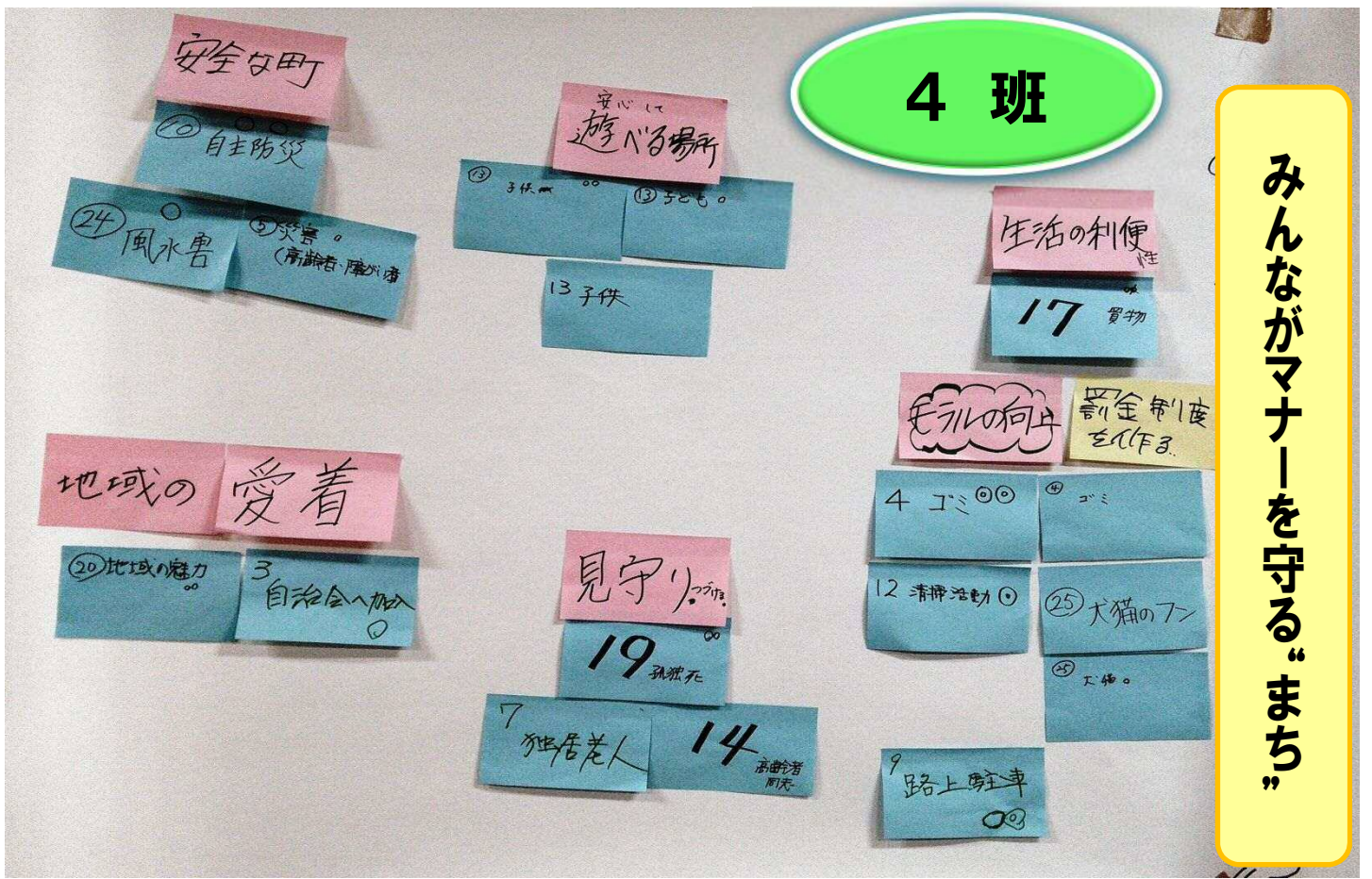
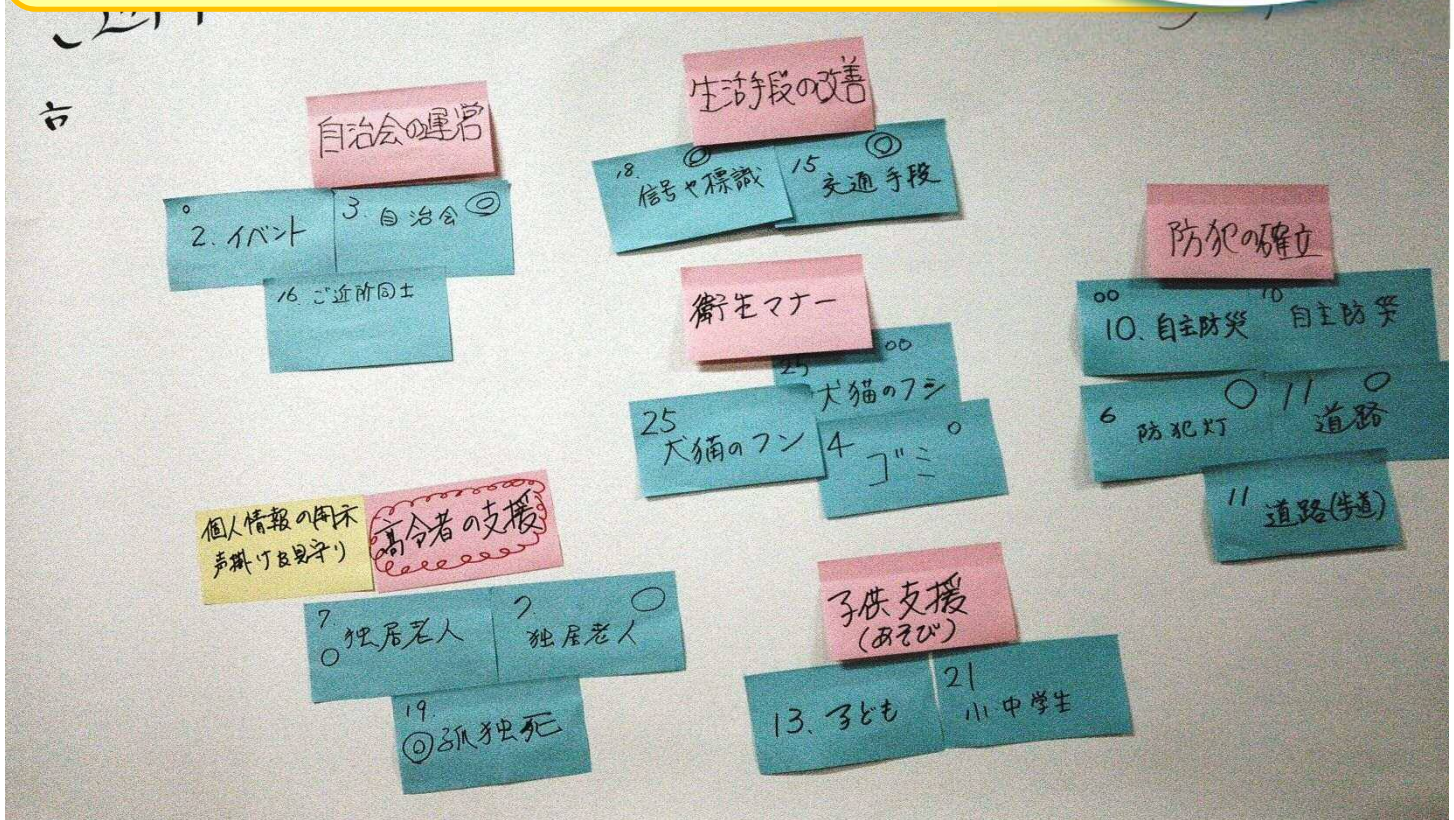
13 子供

15 00 交通手帳

民生委員が
頑張るまち

ご近所付き合いが高齢者を守る町

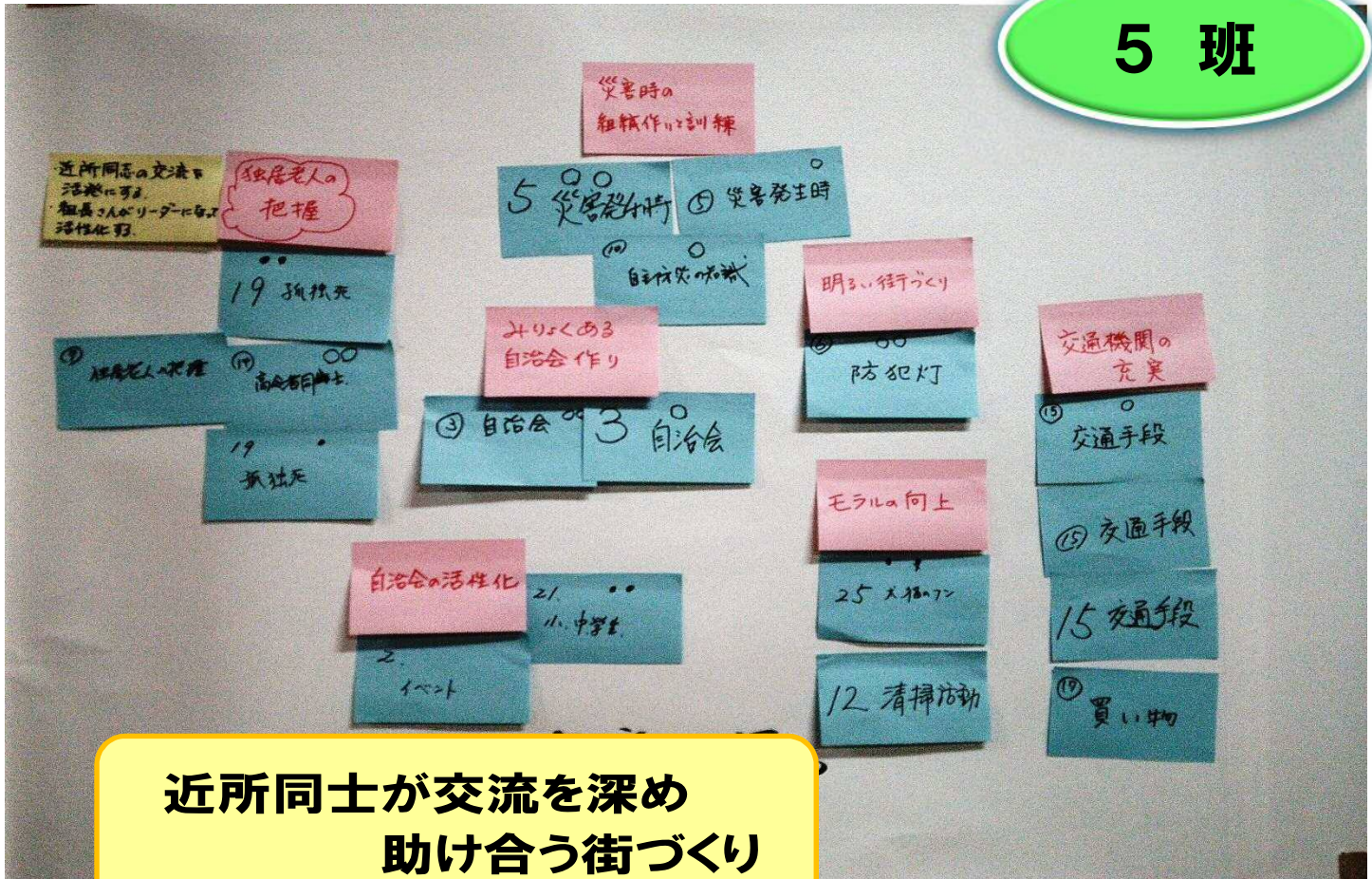
3 班



4 班

みんながマナーを守る“まち”

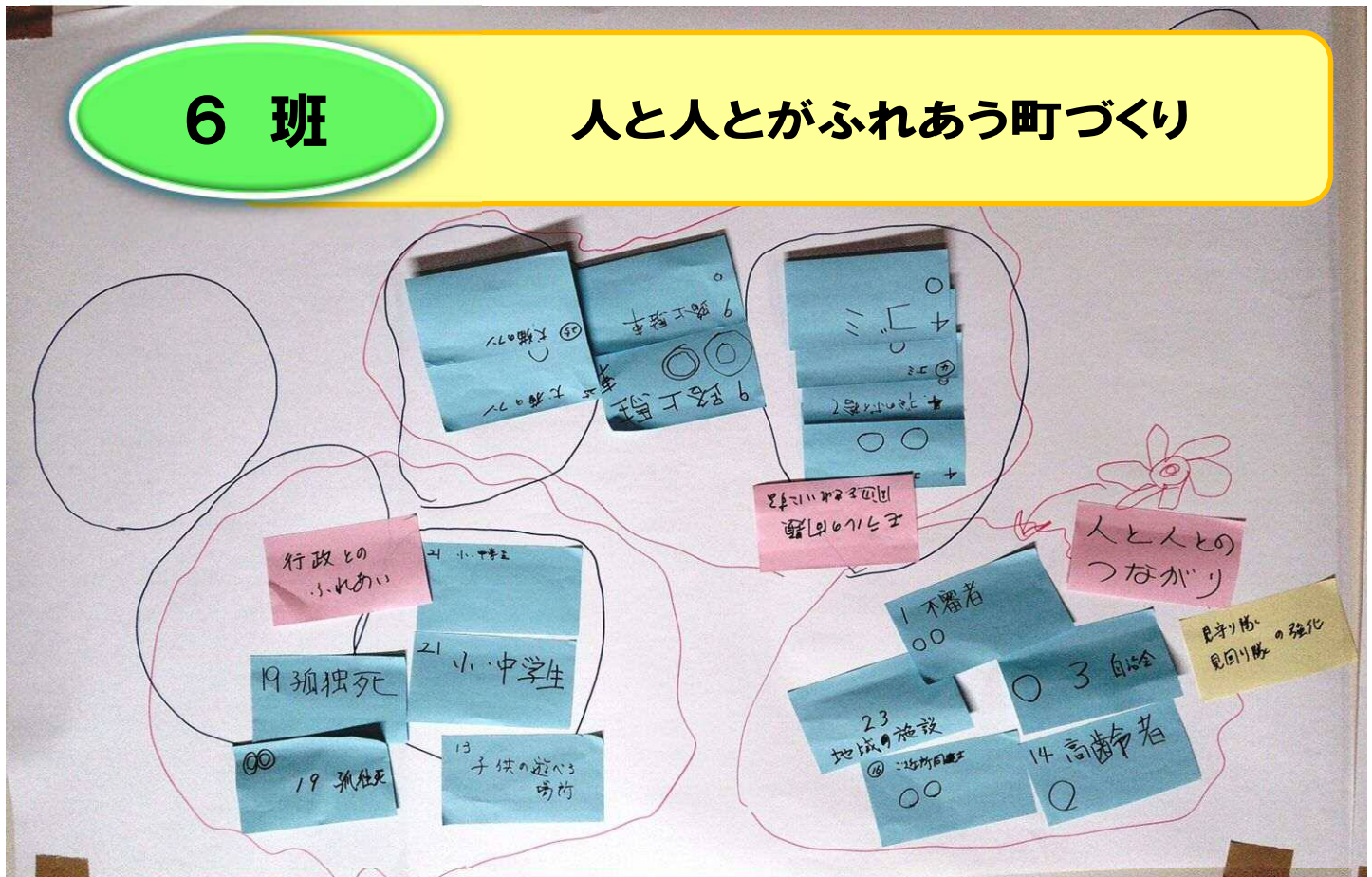
5 班



近所同士が交流を深め
助け合う街づくり

6 班

人と人がふれあう町づくり



第3回市民体験型研修（ワークショップ）参加者アンケート集計結果

・開催日時 平成25年2月13日・午後7時～9時 ・開催場所 池田町公民館

○参加者人数37名 ○回答者数36名 ○回答率97.3%

■年 齢

年 齢	人 数	割 合
10歳～	0人	0%
20歳～	0人	0%
30歳～	2人	5.5%
40歳～	3人	8.3%
50歳～	6人	16.7%
60歳～	10人	27.8%
70歳～	14人	38.9%
80歳～	0人	0%
90歳～	0人	0%
無記入	1人	2.8%

■性 別

性 別	人 数	割 合
男 性	19人	52.8%
女 性	16人	44.4%
無記入	1人	2.8%

■市民体験型研修(ワークショップ)の感想について

項 目	人 数	割 合
①有意義だった	28人	77.8%
②普通だった	6人	16.6%
③あまり有意義でなかった	1人	2.8%
④その他	1人	2.8%
無記入	0人	0%

■「校区まちづくり協議会」への理解度について

項 目	人 数	割 合
①たいへん深まった	5人	13.9%
②基本的な理解はできた	31人	86.1%
③あまり分からなかった	0人	0%
④その他	0人	0%
無記入	0人	0%

■ワークショップの内容・時間設定について

項目	人数	割合
①内容も時間も適切だった	21人	58.3%
②話し合いの時間が短かった	11人	30.5%
③話し合いの時間が長かった	2人	5.6%
④その他	0人	0%
無記入	2人	5.6%

■次回の市民体験型研修への参加希望について

項目	人数	割合
①参加する	20人	55.6%
②都合が合えば参加する	16人	44.4%
③参加しない	0人	0%
④その他	0人	0%
無記入	0人	0%

■感想(自由記入)

- ・住んでいるまちの具体的課題を全員で熱心に話し合った。
- ・だんだんビジョンが見えてきた。これからどんな校区まちづくりができるか大変楽しみ。
- ・初めての参加だったが、地域のことが少し分かったような気がした。
- ・よく理解できた。
- ・みんなの意見が聞けただけでもよかった。
- ・他の自治会の方の話が聞いて参考になった。
- ・自治会の課題が見えてきて、有意義なワークショップだった。
- ・初めてだったので、緊張した。
- ・開始時間を早くできないか。
- ・短時間では問題解決策が出にくい。
- ・他の地区の方の問題点を知ることができた。地域によって問題点が違うことがわかった。
- ・より多くの方が参加できればよいと思う。
- ・他の自治会の方と話ができてよかった。
- ・楽しく過ごせた。
- ・楽しく笑顔のワークショップだった。
- ・参加者がもっと多くなるような事項をテーマにして、検討できるようにしてほしい。
- ・このようにすれば自治会が良くなり、中間市も発展するよ、となればよい。
- ・どんなまちにしたいかは、ぜひ小・中学生に聞いてみたい。
- ・25の課題カードは、もう少しまとめることができたのではないか。

中間西校区まちづくり協議会市民体験型研修会 [平成25年3月13日発行]

●校区まちづくり協議会担当課

中間市安全安心まちづくり課(市民協働係) TEL 093(246)2017